

と店 公衆無線LAN活用、スマホに配信

観光客に限定情報

町支店 町支店
みなかみ町 町支店
NTT 町支店

24日から 町内の33店参加
試行

みなかみ町とNTT東日本群馬支店は6日、公衆無線LANサービス「WiFi i (ワイファイ)」を活用した観光活性化のための仕組み作りで共同で取り組みと発表した。第1弾として町は、同社が提供するWiFi iの高速ネット接続ポイントを活用し、24日から観光客のスマートフォン(多機能携帯電話)などに独自

情報を配信するサービスを試行する。

同社が提供するWiFi i接続スポットの「光ステーション」を活用できるのは、道の駅「水紀行館」、上毛高原駅前「みなかみ町観光協会」、たくみの里「豊楽館」、水上駅前「水上温泉旅館協同組合」の4カ所。この取り組みには4カ所のほか、町内の宿泊・レジャー施設、食堂、土産店の29店が参加する。傷のあるリンゴや形崩れまんじゅうなどB級品の土産販売、キヤンセルなどで急ぎよ空き室となった宿泊情報といった当日限定情報を発信する。観光客は4カ所で、通信会社を問わずWiFi iに対応したスマホなどでネットに接続し、こうした情報取得できる。各店も接続

スポットとなり、来店客に自店の最新情報を提供する。

9月30日までの試行を踏まえ、町はWiFi iを使ってスマホなどに配信する「みなかみオリジナルポータルサイト」の構築を検討。イベント情報や観光のオリジナル動画など、観光客に有益な情報を提供する。同社は県内の他の自治体や観光団体などに同様の仕組みを広げる可能性を探る。

スマホ保有率が高い外国人観光客のニーズに対応するため、町は外国人観光客向けにインターネット接続環境を無料で提供すること

も検討している。

町観光協会は「光回線という高速通信のインフラ環境を構築することで観光客の呼び込みにつながる。店舗など事業者同士の連携を図り、周遊観光を図りたい」としている。

13年度の私立高生徒募集計画発表

県

県学事法制課は6日、2013年度の私立高校14校の生徒募集計画を発表し

写真とエピソードで残す心

「思い出の風景」

www.raijin.com/125th/ 応募